

◆評価できないと判断した成果指標に係る要因・理由等について

新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）の影響により、施設の休館等を実施したことなどから、適正かつ正確な指標をとることが困難であると判断した令和3年度の実績に係る要因・理由等については、下表のとおりです。

【まん延防止等重点措置の期間等】

- ・まん延防止等重点措置（令和4年1月27日（木）～3月6日（日））
- ※南相馬市（令和4年1月27日（木）～2月20日（日））
- ※南相馬市内公共施設の利用制限（令和4年1月18日（火）～2月20日（日））
- ・福島県新型コロナウイルス緊急特別対策（令和3年5月8日（土）～5月31日（月））
- ・福島県新型コロナウイルス感染症重点対策（令和3年6月1日（火）～6月30日（水））
- ・南相馬市における新型コロナウイルス感染症集中対策（令和4年7月9日（月）～8月1日（日））
- ・福島県感染拡大防止対策（令和4年3月7日（月）～3月31日（木））

【新型コロナの影響区分】

- ・直接的な影響を受けたと考えられる成果指標 ⇒ 【直接】
- ・間接的な影響を受けたと考えられる成果指標 ⇒ 【間接】

No.	施策	施策の指標名	後期基本計画策定時の現状値①	令和2年度末の状況②	令和3年度末の状況③	新型コロナの影響	評価できないと判断した要因・理由等
1	⑦生涯学習の充実	生涯学習関連事業の延べ参加人数	13,139人 (平成30年3月)	7,126人	8,093人	直接	<p>施設の臨時休館や利用定員の制限をしたことなどから、生涯学習関連事業の参加者が減少した。</p> <p>なお、開催にあたっては感染症対策をした上で、講座の開催条件の緩和の実施（通常10名以上⇒少人数でも可とした）など、積極的な学習機会の提供に努めた。</p> <p>また、生涯学習センターに直接行かなくても、学習できる機会を提供するため、「みなみそうまチャンネル」及びYoutubeを活用した動画配信も実施した。</p> <p>【臨時休館日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月9日（金）～7月31日（土） ・令和4年1月18日（火）～2月20日（日）、3月17日（木） <p>【利用定員の制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター施設利用ガイドラインに基づき施設を管理 ・令和3年11月14日（日）までは定員を1/3、以降は1/2に制限

No.	施策	施策の指標名	後期基本計画策定時の現状値①	令和2年度末の状況②	令和3年度末の状況③	新型コロナの影響	評価できないと判断した要因・理由等
2	⑦生涯学習の充実	博物館の利用者数	12,131人 (平成30年3月)	6,188人	8,426人	直接	<p>新型コロナの影響により、施設の臨時休館やイベント等を中止したことや外出自粛などが影響し利用者が減少した。また、感染症対策の観点から利用人数を制限し講座等を実施（定員を1/2に制限）するなど、できる限り多くの事業が実施できるよう努めた。</p> <p>【臨時休館期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月8日（木）～7月31日（土） 令和4年1月18日（火）～2月20日（日）、3月17日（木） <p>【利用制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月4日（水）～現在 <p>【利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度：6,188人 <ul style="list-style-type: none"> ・4,292人（開館日数259日 1日あたり16人） ・その他の利用（イベント・講座等）：1,896人（316件） ○令和3年度：8,426人 <ul style="list-style-type: none"> ・5,349人（開館日数255日 1日あたり約21人） ・その他の利用（イベント・講座等）：3,077人（469件）
3		図書館の利用者数	91,107人 (平成30年3月)	72,668人	75,230人	直接	<p>適切に感染症対策を実施し、多くの方が施設を利用できるよう取り組んだが、施設の臨時休館や閲覧席を制限（減数）したことから、利用者が減少した。</p> <p>【臨時休館期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館、小高図書館、鹿島図書館（3館とも） 令和3年7月8日（木）～7月31日（土） 令和4年1月18日（火）～2月20日（日）、3月17日（木） <p>【閲覧席の制限】（従前の半数程度を利用可とした）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年5月26日（火）～令和4年6月12日（日）まで
4	⑧芸術文化の充実	芸術イベントの開催件数	63件 (平成30年3月)	26件	39件	直接	<p>施設の休館やイベント等を中止したことに加え、各団体の活動が自粛されたことから、成果発表等イベントの開催が減じたものと捉えている。</p> <p>なお、市の文化イベントについては、事業の縮小やオンラインイベントへの内容変更を行い、コロナ禍でも実施できるように工夫し開催した。</p> <p>また、成果発表のイベントについては、ウェブ上の展覧会や無観客での開催でも補助金の対象とするなど、コロナ禍においても多くの団体が活動できるよう取り組んだ。</p>

No.	施策	施策の指標名	後期基本計画策定時の現状値①	令和2年度末の状況②	令和3年度末の状況③	新型コロナの影響	評価できないと判断した要因・理由等
5	⑨スポーツの振興	スポーツ施設の利用者数	320,000人 (平成30年3月)	265,042人	242,246人	直接	<p>適切に感染症対策を実施し、多くの方が施設を利用できるよう取り組んだが、施設利用の休止や利用を制限したことに加え、スポーツ少年団の活動制限、スポーツ大会を中止したことなどから利用者が減少したものと捉えている。</p> <p>【施設休止期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年 7月 8日(木)～7月31日(土) 令和4年 1月18日(火)～2月20日(日) 令和4年 2月21日(日)～3月 6日(土) (屋内市民プールのみ) <p>※鹿島区内 17施設、屋内市民プール、パークゴルフ場</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月17日(木) <p>【施設利用制限：時間制限(21時→20時)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年 3月22日(月)～4月 4日(日) <p>※参考</p> <p>【1日当たりの利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度：約 860人/日 令和3年度：約 800人/日
6		スポーツ団体への加入者数	4,870人 (平成30年3月)	3,644人	4,019人	間接	<p>適切に感染症対策を実施し、多くの団体に活動の機会を提供できるよう取り組んだが、新型コロナの影響から団体の活動が制限され、加入の見合わせが発生したことにより、加入者数が減少したものと捉えている。</p>
7		市総合体育大会への参加者数	2,460人 (平成30年3月)	1,524人	1,599人	直接	<p>令和3年度については24競技中6競技の大会が中止となり、18競技の実施となったことから、参加者について減少したものと捉えている。</p> <p>※参考</p> <p>【1競技あたりの参加者数平均】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度：約85人/競技 令和3年度：約88人/競技
8	⑩疾病の予防	特定健康診査の受診率	38.0% (平成30年3月)	29.3%	-	間接	<p>9月中下旬に速報値が公表されることから、現時点では評価できていない。</p>

No.	施策	施策の指標名	後期基本計画策定時の現状値①	令和2年度末の状況②	令和3年度末の状況③	新型コロナの影響	評価できないと判断した要因・理由等
9	⑩疾病の予防	大腸がん検診の受診率	23.1% (平成29年6~10月)	22.5%	20.3%	間接	令和2年度と比較し、検査実施期間を多く確保した(R2:21日→R3:34日)が、当該検診は集団検診のみとなっていることから、新型コロナの影響により、受診者の受診控えにより、受診者数が減少したものと捉えている。
10	⑪心身の健康づくり	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	31.7% (平成30年3月)	37.0%	—	間接	9月中下旬に速報値が公表されることから、現時点では評価できていない。
11	⑮地域福祉の向上	生活困窮者新規相談件数	141件 (平成30年3月)	501件	628件	直接	新型コロナの影響による収入減等により生活困窮者が増加したため、新規相談件数が大幅に増加した。 これは、市において緊急小口資金・総合支援資金貸付制度など各種支援制度の周知を行うとともに、相談しやすい環境を整えた結果であると捉えている。
12	⑯介護予防と高齢者福祉の向上	65歳以上の要介護(要支援)認定者の割合	16.0% (平成30年3月)	17.2%	18.0%	間接	新型コロナの影響により外出や介護サービスの利用を控えたり、運動の制限から機能低下が生じたと捉えている。 このため、居宅介護サービス事業者に対し、介護サービスを提供する際の感染予防対策の徹底を依頼するとともに、要介護認定の無い方には総合事業などの介護予防事業への参加を促した。
13	⑰通年観光の推進	観光交流施設来場者数	1,859,000人 (平成30年3月)	1,205,695人	1,319,863人	直接	少しでも多くの観光客に会場いただくため、ソーシャルディスタンスを確保しながら、屋外スペース等を活用し、物販や展示販売会等に努めたが、施設の臨時休館や人の動きが制限されたため、観光客の減少となった。

No.	施策	施策の指標名	後期基本計画策定時の現状値①	令和2年度末の状況②	令和3年度末の状況③	新型コロナの影響	評価できないと判断した要因・理由等
14	⑳通年観光の推進	観光イベント参加者数	240,000人 (平成30年3月)	2,990人	5,980人	直接	相馬野馬追については、無観客による開催となるなど、新型コロナの影響でほぼすべての観光イベントが中止となり、イベント参加者の大幅な減少となった(開催イベント:あかりのファンタジーイルミネーションinおだか、野馬追振興春季競馬大会、野馬追振興秋季競馬大会など)。
15	㉑交流人口・関係人口の拡大	体験交流事業参加者数	7,243人 (平成30年3月)	1,386人	2,506人	直接	野馬追の里健康マラソン大会は通常開催となったが、新型コロナの影響でほとんどの体験・交流事業が中止となり、参加者の減少となった。
16		南相馬サポーターイベント参加者数	—	262人	0人	直接	3回のイベントを予定していたが、まん延防止等重点措置の対象となったことなどから、イベントが開催できなかった。
17	㉒公共交通の確保	JR常磐線原ノ町駅の1日平均乗車人数	975人 (平成30年3月)	838人	847人	直接	新型コロナの影響による外出や旅行自粛、学校の休校等の影響により乗車人員が減少したものと捉えている。
18		タクシー事業者乗務員数	54人 (平成30年9月)	51人	54人	間接	コロナ禍による採用の繰り延べや退職者の補充状況により、乗務員数は、増加と減少を繰り返し、同程度となっている。
19	㉓防災体制の強化	防災訓練・防災教室を実施している自主防災組織数	17行政区	48行政区	16行政区	直接	新型コロナの影響等から防災訓練・防災教室の実施を見合わせる行政区があったことから実績が減少したものと捉えている。